

令和5年度事業計画について

第211回通常国会施政方針演説の中で総理は「インフレ率を超える賃上げの実現」と「異次元の少子化対策に挑戦する」と表明し、賃上げは総理が掲げる「新しい資本主義」の目標である成長と分配の好循環の中核と位置づけ「何としても実現しなければならない」と訴え、「賃金が毎年伸びる構造を作る」としています。少子化対策は「こども予算倍増に向けた大枠を提示していく」と述べ、日本の高度成長を支えた原点に立ち返り、企業の競争力強化やコロナ対策は足元の感染状況に十分注意しながら第8波を乗り越え、今年こそ平時の日本を取り戻すと会見が行われました。

新型コロナウイルス感染症は発生から3年が経過しましたが、いまだ収束せず以前の状況に戻っていません。今年度も当センターは、コロナ禍と共存しながらの事業運営になるものと思われまます。

一方人生100年時代と言われる中、「生涯現役社会の実現」に向けた取り組みが進められており、高齢者の能力を十分に発揮し、活躍できる環境整備を図ることが必要であり、シルバー人材センターの果たすべき役割はますます重要となっています。

昨年、兵庫県シルバー人材センター協会（兵シ協）事業推進大会で、地域社会の課題やニーズを敏感にとらえ、事業活動及び社会貢献活動を通して地域社会の発展に貢献していく「誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現」というSDGs推進が宣言されました。

これからは、そのことに配慮しつつ事業運営を行っていかねばなりません。

このような状況の中、当シルバー人材センターの現状は、会員数の減少、契約金額の落ち込み、昨年2月以降の世界情勢の変化に起因した消費者物価の上昇、また、本年10月からの「インボイス制度」による、新たな経費負担も生じるなど、大変厳しい経営状況となっております。

令和5年度は、更なる会員拡大、就業開拓、デジタル化推進による業務運営の効率化・簡素化による事務コストの削減、民間企業などへの業務提供に係る事務費率の増額改定などの経営改善対策を講じることにより、経営基盤の安定を図り、地域社会の期待に応えられるセンターづくりを目指す所存です。

そこで、令和 5 年度の事業目標としては、前年度事業を継続実施することを基本として次のような重点項目を設定しました。

重点項目

1 就業機会の確保

会員の皆さんの希望に合致した就業の拡大がなかなか進んでおらず、その結果としてミスマッチの状況を引き起こしております。この解消のため、希望する職種などの「就業に関するアンケート調査」を行い、会員の皆さんが1人でも多く希望の職種に就業できるよう役職員一丸となって、就業機会の確保に努めますので、会員の皆さんも「一人一仕事開拓運動」にご協力をお願いします。

2 就業相談の実施

就業情報の提供は、事務所の広報板、ホームページ、携帯ショートメッセージ等を活用し、適宜就業情報が提供できるよう、鋭意努力を続けてまいります。また、希望する職種に就業できるよう、月2回の相談日を開設し、相談に応じていきます。

3 各種講習会等の開催

会員の皆さんのスキルアップに資するとともに、今後、会員になられる方を含めた地域の方々にも参加していただけるような各種講習会を開催します。

4 安全・適正就業の実施

安全就業は、「安全は全てに優先する」との基本姿勢のもと、安全委員会が中心となって「安全就業のための安全対策」の推進に努めます。

適正就業は、就業ガイドラインを活用しながら、発注元との意思疎通を図っていきます。

令和 5 年度の安全目標を次のとおり設定します。

(1) 重篤災害件数

0件

(2)一般災害件数	5件以下
(3)休業日数	120日以下
(4)物損事故件数	5件以下
(草刈作業中の飛び石事故 0件)	

5 会員拡大

シルバー事業の根幹をなす会員の拡大については、なかなか思いどおりに新規入会者が増加せず、退会者が予想以上に増加している現状があります。本年度からフレンドリーショップ(会員優待割引)制度の導入や親睦事業の見直し(会員へのアンケート調査による事業の構築、見直しなど)などを行い、当センターの魅力を高めるための環境整備も行います。

また、昨年から開催しておりますハローワークとの連携による就業相談会や面接会などを本年度も引き続き開催いたします。ほかにも会員拡大委員会の中で検討をし、効果のある事業は推進していきますので、会員の皆さんも「一人一会員入会運動」にご協力をお願いします。

6 介護保険事業・新総合事業

ここ数年来のヘルパー会員の高齢化と減少がヘルパー事業の就労に大きく支障を来たしております。これにより、事業高が減少となり、厳しい事業運営を強いられております。今後も、引き続きヘルパー会員の補充に努めるとともに、相生市地域包括支援センターとの連携と協力をお願いしながら利用者の拡充に努めてまいります。しかし事業運営の改善が図れず、サービスに支障を来すなど問題が生じた場合は、介護保険事業の在り方について、検討をいたします。

7 労働者派遣事業(シルバー派遣事業)並びに職業紹介事業の継続

当該事業は、兵シ協が実施する、労働者派遣事業(シルバー派遣事業)並びに職業紹介事業の実施事務所として、高齢者の就業に適した臨時的かつ短期的、またはその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者に、シルバー派遣事業並びに職業紹介事業を継続実施いたします。また、兵シ協と緊密な連携を図りながら、高年齢者の多様な働き方の選択肢として継続実施を

します。

8 中長期計画の推進

後期5か年の目標数値設定から3年目となりますが、新型コロナの影響、定年延長などにより大変厳しい現状となっております。中長期計画推進委員会において、種々検証を行い、今後の目標達成のための一助とし、安定的な事業運営に資したいと考えております。